



年頭のご挨拶

社団法人 電気通信協会
会長 前田 光治

会員の皆様、明けましてお目出とうございます。私は旧臘17日の理事会で会長に選出されました前田でございます。

新年にあたり、誌上をお借りして一言ご挨拶を申し上げます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

顧みますと、昨年は打続く不況が各方面で深刻化し、消費と設備投資の減退に加え、金融機関の貸し渋りが大きな社会問題となるなど、会員各位・各社におかれましては経営に多大のご苦心とご努力を払われたことと存じます。

一方、電気通信とこれに関連する分野につきましては、21世紀の本格的マルチメディア社会の形成に向けた、明るい大きな変化も顕在化してまいりました。

携帯電話等の急激な普及は正に目を見張るものがあり、このための巨額な設備投資は、ややピークを越えつつありますが、この不況の世に注目されるものでした。

また、インターネットの爆発的ともいえる普及も、昨年の特筆される社会現象でした。これは個人・SOHO・大企業の別なく、広汎多様に用途が拡大してきており、今年も、また更に21世紀にわたって大きな進展が予期されます。急増するインターネット

トラフィックに適した通信網の拡充は焦眉の急といえましょう。

ここ約10年程の間、我が国を含め世界の電気通信事業における民営化・規制緩和の動きは、大きく進展してまいりました。

昨年1月には、欧州連合の通信事業自由化の期限を迎え、最後の堰が切って落とされました。ボーダレスのメガコンペティションを乗り切るため、世界のキャリアは規模の大小を問わず、戦略的合従連衡を繰り広げております。

我が国では、世界最大のキャリアであるNTTの再編成が今年から実施されることとなっており、国際・国内を問わず、競争は激化するものと思われます。

不況のさなかではありますが、電気通信の世界では、21世紀に向けた大きな進展が、困難と混迷を伴いながらも、確実にステップを刻んでおります。

今年が会員各位・各社に飛躍をもたらす年となりますことを、心から祈念いたしますと共に、当協会も微力ながら役職員一同、使命達成に努力致しますので、一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。